

# ヘグラカバイロコメツキ コウチュウ目コメツキムシ科

*Agriotes subvittatus hegurensis* Kishii

石川県カテゴリー 地域個体群

国カテゴリー なし

## 選定理由

舩倉島で採集された個体をタイプ標本として記載された亜種であるが、ヘグラシモフリコメツキと同様に記載以降の記録がなく、絶滅が危惧されている。

## 形態

体長8.0~9.5mm。体は細長く艶消し状で、体色は黄褐色。本土に分布する亜種チャイロムナボソコメツキ *A. s. ogurae* Lewis と比較して、触角第2節がわずかに長いこと、前胸背板の点刻がより粗く濃いこと、前胸背板側縁がより平行であることなどの差異により、別亜種として記載された。

## 国内分布

本亜種はこれまでのところ、舩倉島、佐渡島と隠岐島の日本海離島でのみ確認されている。ただし、舩倉島では現在も生息しているかは不明である。

## 生態

県内本土側に分布する *A. s. ogurae* Lewis は河川敷の堆積物の下で年間を通して見られ、灯火にも飛来するという。そのため、本亜種も類似の生態を有しているものと考えられる。

## 生息地の条件

草本植物の繁茂する環境を好んで生息すると思われる。

## 生存の危機

記載当時と現在とでは島の植生が大きく変化している。本種は環境変化には弱いと思われるため、島全体の植生を記載当時の状況に復元することが必要と思われる。

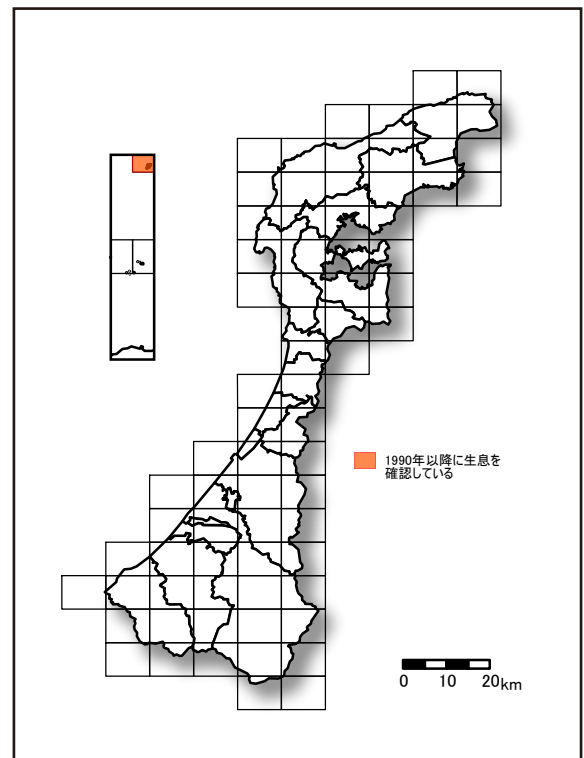
## 特記事項

舩倉島が本亜種の基産地である。現状における生息状況を確認する必要がある。

## 参考文献

Kishii, T. 1964. Elateridae of Island Awa-shima, Hegura-jima and Nanatsu-jima "The Snappers of Islands (IV)". Bull. Heian High School, (8): 1-39.

写真(図)はありません。



県内の分布